

【FIT176G】 FIT176+GBPパネル

(175+8項目)

血液

日本人にも馴染みのある食品に対するIgG抗体・c3dを調べるフードアレルギー検査に加え、【GBP】腸管バリアパネルがセットされた画期的な検査パネルです。

本検査パネルの特徴：

1. IgG抗体に加え炎症マーカーであるc3dをデュアルに調べることによって、より高い精度を実現しています。
2. 腸内環境の悪化につながるとされる食品添加物10種類が含まれています。
3. 健康ブームで人気が高まっているCBDも含まれています。
4. 腸管バリアパネルがあらかじめセットされています。

腸管バリアパネルでリーキーガットに関わる腸管上皮のタイトジャンクションの状態も併せて確認し、その後、175項目の食品のうち高反応の食品を除去することで腸内環境の改善に役立つ可能性があります。

★【FIT132G】の項目に下記の項目をプラス

【乳製品】羊乳【穀物】アマランサス、蕎麦、タカキビ、スペルト小麦、タピオカ、小麦グリアジン【フルーツ】アサイー、アンズ、イチジク、ゴジベリー、キウイ、マンゴー、ラカンカ、パパイヤ【添加物】食酢【野菜】ルッコラ、芽キャベツ、ナス、ケール、ペポカボチャ【豆】黒インゲン豆、サヤインゲン【スパイス】コリアンダー、クローブ、クミン、パセリ【魚】カタクチイワシ、サバ、イワシ【肉】鹿肉【ナッツ】ブラジルナッツ、マカダミアナッツ、松の実、ピスタチオ【抽出物 / その他】ココナッツオイル、カンナビジオール (CBD)、ハチミツ、メープルシロップ、ステビア【種子】チアシード、ヘンプシード【シェルフィッシュ】カキ、イカ

* カンジダは実際の検査結果の「腸管バリアパネル」に表記されます。

【GBP】 主要な4つのマーカー（カンジダ、ゾヌリン、オクルディン、LPS）